12月定例会

一般会計補正予算 決まる

平成24年12月10日から13日までの4日間の日程で、12月定例議会が開催されました。提出された議案は承認案件（専決処分）1件、条例規則の一部改正2件、平成24年度一般会計と特別会計の補正予算4件、町道路線廃止1件、町道路線認定1件、訴えの提起（介護保険）1件、人事案件1件、意見書1件で提案された議案はすべて原案通り全員賛成で可決しました。

決定した主なもの

専決処分

◎平成24年度一般会計補正予算（第4号）

衆議院の解散に伴い衆議院議員選挙費の974万円を計上、併せて労働者派遣法改正に伴い庁務手民間委託から臨時職員に予算組替えを承認しました。

補正予算

◎平成24年度氷川町一般会計補正予算（第5号）は歳入歳出それぞれ5、539万円を追加しました。

主な歳出

○総務費
- 宮原振興局本館解体、新館改修実施設計業務委託料　540万円
- 成人式記念品　3万円

○民生費
- 放課後児童クラブ健全育成事業委託料91万円

○農業費
- 新規就農者確保事業青年就農給付金　662万円
- 農地集積協力金　250万円
- 有佐（京田・田中）水路改良工事　240万円
- 農業体質強化基盤整備促進事業補助金　4、575万円

○土木費
- 西上宮町道改良事業補償金　100万円

○消防費
- 氷川町倉庫解体、備蓄倉庫新築設計委託料　234万円

○災害復旧費
- 災害復旧事業（栫地区ため池）217万円

主な歳入

○総務費国庫補助金　590万円
○農林水産業費国庫補助金　4、706万円
○農林水産業費県補助金　765万円

条例

◎氷川町暴力団排除条例の一部改正

法律の条文に「事業者の責務」が追加されたことにより、適用する法律の条文番号が変更になりました。

◎平成24年度氷川町介護保険特別会計補正予算（第2号）は歳入歳出それぞれ1、156万円を追加しました。

主な歳出

- 訴訟代理人委託費　40万円
- 国庫支出金等返還金　1、027万円

◎平成24年度氷川町下水道事業特別会計補正予算（第1号）は歳入歳出それぞれ1、250万円を減額しました。

主な歳出

- 水洗便所改造補助金　75万円
- 流域下水道維持管理負担金　△1、071万円
- 管渠実施測量設計等業務委託　△199万円
- 管渠築造工事　704万円
- 上水道等移設補償費　△505万円

訴えの提起

訴えを提起するには、地方自治法第96条第1項第12号の規定により、議会の議決を得るものです。

氷川町は医療法人社団本田会並びに本田溥氏に対し、介護報酬を不正請求し、受領した金額454万円及び、同額に損害賠償請求権に基づき100分の40で乗じて得た金額181万円の合計額635万円並びにこれに対する不正請求額の各支払日から支払済みまで民事法定利率年5分の割合による遅延損害金を支払うよう求める訴えを決定しました。

人事

○人権擁護委員の推薦

人権擁護委員の推薦については、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の同意を得るものです。

氷川町宮原　新垣有美子氏の推薦に同意しました。

新規就農者確保事業青年就農給付金増額 農業体質強化基盤整備促進事業補助金増額など

主な質疑

専決処分

問 労働者派遣法の改正に伴って民間委託から臨時職員へ予算組替えだが、今回の改正は職員として雇用を増やすのが根本にあると思うが、各課でそれぞれの業務体系が異なるので、どういう雇用体制をとるのか。

答 臨時職員は職員と同様の仕事ができる部分ではなく、職員の事務補助であります。併せて雇用の場の提供で町民の方を雇用しています。それぞれの業務の中で今後の取り扱い方法等を検討して決めていきます。

条例

◎氷川町暴力団排除条例の一部改正

問 法律に事業者の責務が新たに規定されたが、事務所がステッカーを貼って事件がおきている。本町では心配しなくていいのか。業者の責務として行動した場合、業者の保障は大丈夫か。

答 事業者の責務は不当要求防止責任者講習を受講と、事業活動を通じて暴力団員に不当な利益が無いように努力義務として今回追加されました。事業者の被害は現在まで聞いていません。被害等があれば警察と相談して暴力団条例に基づいて対処していきます。

西上宮8号線改良予定地

一般会計補正予算

問 農業体質強化基盤整備促進事業補助金4、575万円が計上されたが、事業費が平成23年度補正から今回の補正まで合せて4億2、825万円と大規模工事になっている。土地改良区の事業になるが現在迄3億8、000万円程度発注されている。発注先の内訳と年度内完成はできるのか。

答 土地改良区が実施主体となり工事関係の発注も行っています。その内14件が竣工検査も済んでいます。残り6件の工事も12月28日の竣工を目指しています。

問 学校運営協議会委員の報酬が増額されたが当初計画より人数が増えたのか、新たな計画をされたのか。

答 文部科学省からコミュニティスクールの連携協議会委託金として学校ごとに10万円ずつ、一般会計で氷川中学校分も合わせて50万円交付されました。今年と来年度の2年間行います。例年は4回分措置していますが、連携協議会を2回開催することで追加しました。

問 訴訟代理人委託費40万円は訴えの提起と関連した予算計上だと思うが、訴訟問題は随分前からわかっていたのに訴訟に至るまでに議会に何の説明もなかったのはなぜか。

答 議会には事前に機会あるごとに報告すべきだったと思います。訴訟に至らないよう事前に償還して貰うよう努力したが結果として訴訟になった。今後は途中経過を議会に報告します。

下水道事業特別会計補正予算

問 流域下水道維持管理負担金1、071万円の減額理由は何か。

答 平成23年度分の精算水量で、浄化センターにある利用処理区分の積算流水量メーター器を調査したら調子が悪く多大な誤差があり積算流水量が大幅に減った。各市町との調整合意のもと精算をし直し減額しました。

氷川町道路線認定

問 一級道路の吉本本山線は昔からの路線名を使っているが、インターチェンジ侵入道路にふさわしい路線名に変更する考えはないか。

答 町活性化基盤創造交付金で道路を整備しています。既存の道路整備という条件が付いており、事業が終るまでは現在の路線名で、インターチェンジの完成に合わせて名称変更を考えます。